科目ナンバリング			
授業科目名 <英訳>	日本語・日本文化演習 Japanese language & Culture	担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　河合　淳子 国際高等教育院 准教授　家本　太郎 国際高等教育院 准教授　湯川　志貴子

群	キャリア形成科目群	分野(分類)	その他キャリア形成	使用言語	日本語及び英語

旧群		単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）

開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本人学生、特に海外大学に短期留学を計画している学生が、留学先大学において日本語を教え、日本文化を紹介するなどの経験とその準備を通して、日本文化を再発見し、その過程を通してグローバルな視野に立った物の見方・考え方を養うことを目的とする。

[到達目標]

・日本語、日本文化を捉える多様な視点を理解すること。
・本講義で学んだことを生かして、まずは授業内で、日本語や日本文化を実際に紹介する経験をすること。

[授業計画と内容]

多様な文化を有する人たちとの交流の中で、自国文化を多面的に理解し紹介できることが要請される場面は多い。日本人であっても日本語や日本文化について深い理解をもって解説するためには、言語・文化に意識的に向き合わなければならない。本授業は、日本語や日本文化を意識的に捉え、深い理解に立って外国人と見方や考え方を共有できるよう、講義・実習・討議を交えて進めていく。

1回目　オリエンテーション　＜講義担当：河合、湯川、家本＞

2回目－7回目＜講義担当：湯川＞
多文化の中の日本文化―何をどう伝えるか―（講義）
日本文化に関するプレゼンテーション準備及び討議（実習）

8回目－13回目＜講義担当：家本＞
日本語の特徴－（講義）
言語の機能と文化－（講義）
日本語、日本文化、日本社会に関するプレゼンテーション準備及び討議（実習）

14回目　　＜講義担当：河合、湯川、家本＞
プレゼンテーション

[履修要件]

特になし

日本語・日本文化演習(2)へ続く↓↓↓

日本語・日本文化演習(2)

[成績評価の方法・観点]

積極的参加態度、課題提出、発表、プレゼンテーションを総合して評価する。
配点の割合は講義において示す。

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

実習、発表、プレゼンテーションの準備として、段階を追って随時課題が出される。各自、積極的に準備を行うことが求められる。

[その他（オフィスアワー等）]

海外留学を考える学生を優先するが、これまでとは異なる新しい視点で日本語・日本文化を考えてみようとする学生や留学生の受講も歓迎する。
大学間交流協定による短期留学プログラム（東アジア）、ASEAN短期留学プログラム参加のための推奨科目となっている。